

支 部 だ よ り

関 東 支 部

支部長 富安 一夫 (昭34)

関東支部では平成16年度の支部総会を6月26日に、都市センターホテルで開催しましたが、参加者は37名で例年より少なめでした。総会案内の時期が若干遅れたことと月末で他の行事と重なって、参加したくても出られない方も多かったようで反省をしております。それでも仙台在住の服部俊明氏(昭28)や特別会員の吉田 明氏(元長大薬学部助教授)、さらに若手の同窓生も数多く参加して、会場の雰囲気は活気に満ちていました。

来賓として駆けつけて頂いた西協会長のご挨拶のなかから、独立法人化で長崎大学もこれからは企業的発想の中で運営をしていかなければならないこと、それにともない大学全体の同窓会の発足が提案されていること等を知り、改めて母校の置かれている厳しい環境を認識しました。西協会長には支部総会の前に開いた卒後セミナーから懇親会まで長時間にわたってご参加を頂き心から感謝を申し上げます。

総会では校歌斉唱や物故者の黙禱に続いて、支部活動や会計報告と役員の一部改選を行いました。平成14年度から支部運営に献身的な尽力を頂いた末澤克己氏(昭47)が幹事長を退任し、後任に樋

口宗司氏(昭42)が就任、平山清美氏(平7)が幹事を辞任するほかは全員留任いたしますので、引き続きご支援をお願いします。

支部の行事としては、昨年と同様に卒後セミナーを総会の前に剛堂会館で開催しました。テーマは「変貌する医療と薬剤師の役割—リスクマネジメントを中心に—」ということで、日大医学部の法医学 押田茂實教授の基調講演と、会員によるシンポジウムを行いました。基調講演は前支部会長の黒岩幸雄氏(昭30)の座長で、押田教授は医療事故の実例をあげながら分かりやすい講演をして下さいました。シンポジウムは、先ず吉岡優子氏(昭56)が調剤過誤の概念と現状を紹介し、次に調剤の現場から近藤純子氏(昭55)が日頃の取り組みを、さらに渡部クリ子氏(昭50)が基幹病院におけるリスクマネージャーの組織と活動を、終わりに梶村 博氏(昭50)がメーカーのDI活動について発表してくれました。今回はテーマが専門的なので、セミナーが始まる前はどのような会になるものかと懸念をしていました。しかし、押田教授は巧みな話術で聴衆を引きつけ、シンポジウムも夫々が日頃の業務に裏打ちされた発表で、大変説得力がありました。討議も活発に交わされ、セミナーが終わったときには参加者全員が医療におけるリスクマネジメントの重要性を理解することが出来たように思います。

二回連続して実施した卒後セミナーは今後も続



けていく方針ですが、少しテーマが調剤中心に偏っている傾向があります。今後は創薬に関係した話題も取り入れて、より多くの会員が参加できるような企画を考えたいと思います。

以上、関東支部の近況についてご報告いたします

近畿支部

支部長 白石 哲也 (昭32)

この夏はまれにみる猛暑と暴風・豪雨で悩まされ、被害にあった同窓生もおられるのではないのでしょうか。お見舞い申し上げます。一方、アテネオリンピックからの映像を見て、歓喜に包まれ興奮のひとつきにひたった方もおられたことと思います。

近畿支部は6月19日(土)、大阪弥生会館にて平成16年度特別講演並びに総会を開催しました。長薬同窓会長、西脇金一郎氏を迎え、支部会員38名の参加者を得て行うことが出来ました。

最近、医療事故の発生に対するリスクマネジメントが叫ばれているところです。このことに詳しい松山賢治氏(武庫川女子大学薬学部教授)にお願いして「臨床マインドから開発する医薬品」を講演して頂きました。医薬品使用時の安全確保について事例をあげてスライドで詳しく説明されました。大変参考になる貴重な講演でした。同窓生以外からの受講もありました。(講演要旨は近畿

した。今後も新体制で関東支部の活動を活性化していきたいと存じますので、本部をはじめ同窓会員の皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

支部会報第9号に掲載の予定です)

総会では夏木令子支部長が福岡に帰られることから、支部長の改選があり白石が新しく支部長に選出されました。夏木さんは若い支部長として活躍され、多くの方が期待しておられたのに誠に残念です。

近畿支部の会員数は今年6月時点で383名です。これからの支部の課題は特別講演・支部総会、会報への関心を今以上に持っていただくことと、支部のない北陸3県の皆さんに近畿支部への入会を呼びかけることなどです。

次に特別講演・支部総会の報告を致します。

「特別講演」 17時～ 司会 夏木 令子
講師 松山賢治氏(武庫川女子大学薬学部教授)
演題 「臨床マインドから開発する医薬品」

「開会」 18時20分～ 進行 梶野 繁

1. 支部長挨拶 夏木 令子
2. 物故会員への黙禱
3. 校歌斉唱
4. 長薬同窓会会長挨拶 西脇金一郎

「支部総会」 議長 夏木 令子

1. 庶務・会計報告 遠藤 寛子
2. 会報No.9号の発行について



長薬同窓会 近畿支部 平成16年6月19日 於 大阪弥生会館

3. 支部長並びに幹事改選

4. 新支部長挨拶・役員の紹介 白石 哲也
「懇親会」 19時00分～ 進行 斉藤みどり
支部総会に引き続き懇親会に入り、楽しい語らいのひとときを過ごしました。

「閉会」 20時20分

次に平成16～17年度の役員を紹介します。

支部長：白石 哲也(昭32)

副支部長：浅井 武(昭36)、広本 淳子(昭44)、

幹事長：梶野 繁(昭42)

幹事：北島 政雄(昭24)、小林 浩(昭32)、
遠藤 寛子(昭42)、高田 充隆(昭52、
院54)、吉森 由香(昭59)、尾山 廣
(昭60、院62)、林田 久(昭62、院平
1)、斉藤みどり(平8)、小川 孝司(平
10)

監事：浅井 武(昭36)、広本 淳子(昭44)

山陰支部

今年の出来事です

支部長 橋本 覚 (昭52)

二年に一度、山陰支部同窓会を開くことが通例となったようです。今年は開催しない年となります。そこで、今年の同窓会閉会後の出来事を報告します。

会長、被害に遭遇！

さて、支部同窓会の二次会が解散となり、会長、I氏及び支部長夫妻の4名が宿泊することとなりました。男性3名温泉につかり疲れ(酔い)を癒そうということで入浴しました。かえって、酔いがまわりすぎたかもしれません。

入浴した順に湯からあがったのですが、会長が脱衣場でウロウロしておられます。

「部屋の鍵・眼鏡・着替えのパンツがない！」場所を忘れないよう68番(年齢と同じ)で脱衣したはずなのに籠ごと無い。私は部屋番号の61番で着替えました。(酔っているのものでそれぞれが配慮するものです)後から、I氏も加わり広い脱衣場をくまなく探し回りますが会長のパンツ等が見あたりません。(その間、当然、会長はタオルで前を隠しておられました。)私は部屋に眼鏡を置いてきたので、探し回っても近くまで行かないと何も判りません。頼りになるのはI氏のみ、当然、会長と私は眼鏡がないのでウロウロ。私の下着は残っているので素早く着替え、冷静になることが出来ました。

パンツより、眼鏡が大切だ。いや、部屋の鍵だ。(部屋に入られたら貴重品が盗まれる。)

直ぐに、フロントに電話するがノンビリした土地柄で、「もう一度探して下さい。」とおっしゃる。

「それよりも、部屋の鍵がないので、部屋に入れないようにしてくれ。」と叫びますが、部屋の番号は記憶にない。「長葉同窓会の部屋だ！」と叫びました。(長葉では長崎大学薬学部とは誰も気がつくまい。と内心安心し、予約に長葉同窓会山陰支部としたのは正解だった。)

そうこうするうちに、フロントから連絡があったのか係の者が現れ事情を聞き、探すが見あたらない。また、部屋付き係の仲居さんが現れ、会長のサイズを確かめ新品の下着をもってきて、やっと会長は哀れな姿から解放されました。部屋の鍵など貴重品入れのロッカーが脱衣場にあるのが判り、ここに入れておけば事件は起きなかったと反省しました。(当然、反省したのは私であり、被害者の会長は血圧が上がったのではないのでしょうか。)湯冷めして風邪でもひかれたら大変なので、控えの部屋に戻ることにし、あとはホテルの職員と極めて冷静なI氏を残しました。

部屋に戻り、支部長夫人に事情を話して会長の部屋番号がわかったのですが、直ぐにフロントから部屋には誰も入っていないと連絡がありましたので一安心。しかし、眼鏡がないのが困ったもので、明日の観光が台無しになると危惧しました。会長は意気消沈状態です。

数分過ぎた頃、I氏が眼鏡と部屋の鍵を持って現れました。会長には天使に写ったことでしょうか。(歳をとったヨレヨレ天使ですが?)会長感激!感激! I氏からその後の、脱衣場の状況説明がありました。これがまた、奇怪千万です。

会長と私が出て行って暫くすると、他の入浴していた客が、財布が無いと騒ぎ出したそうです。それで初めてホテル従業員が慌てだしたとのこと。(それまでは、酔っぱらいの戯言と内心は考えていたようです。それで他人事みたいな対応だったのです。)財布がない客が洗面台の上に眼鏡があるので発見し、I氏が鍵もあるのでこれは会長のもの

だと判断し持ち帰ったのだそうです。私たちは会長のパンツ、パンツと頭で考え、探し回っていたので、洗面台の上にパンツがあるはずもなく発見出来なかったのではないのでしょうか。(会長の眼鏡と違って探していたら、台の上に置きやすいので、発見できたかも?)

会長のパンツが新調されたのを祝し乾杯! (ホテルの対応の悪さには憤慨! 翌日までにお詫びの挨拶がなかったら、ダメなホテルだ。反面、農協が経営なので無理かも。)長崎に戻られ、パンツが新しくなった理由を奥様に話されて信じて頂けたのでしょうか。この記事がご夫婦のお役に立てれば幸いです。

会長、出雲路を観光

翌朝、晴れ晴れと起床したかったのですが、あいにくの大雨。今年の夏はどうなっているのか、観光日程が狂ってしまいます。

朝食の量にビックリし、出発前に玄関で記念撮影しました。脇には平田市の「一色飾り」が飾られています。I氏の勤務する病院から呼び出しの携帯がなり、4人で途中まで同行することになりました。最大の観光目的、松江堀川遊覧船は午前中、雨で水嵩が増し中止と判り、午前中は出雲大社にお参りすることとしました。大雨の中参拝し、続いて日御碕神社に向かいます。東洋一の美しい灯台があり、上まで螺旋階段を登れるのですが雨のため登るのは中止。日御碕神社は伊勢神宮と出雲大社と結んだ延長線上にあり、伊勢神宮沖で日が昇り日御碕神社沖に日が沈むのだそうです。(山陰の名称は、このことから発生したのかな?)

お昼になったので、名物、出雲割子そばを食べ、会長の好きそうなワイン工場へ向かいます。ここでは試飲コーナーがあり好きなだけタダでワインを飲みます。会長は気に入って辛口ワインを購入されました。

出雲平野の風景を雨上がりの靄の彼方に見ながら、松江に向かいます。途中、我が町(平田:今晩の会長の宿泊地)を通り抜けますと、広々とした宍道湖がみえます。小川は増水し道路から5cmくらいの高さです。遊覧船が無理ならどうしよう。

車の中で話し合い、乗り付け場に行ってダメ

だったら、松江城(天守閣)に登ることとなりました。この城は昔のままで、コンクリートで再現したものではありません。日本には3つしか残っていないうちの一つなのです。木造の良さをかみしめつつ、滑る階段を上って天守閣まで、やっと撮影が出来ますが暗くて良く写りません。

昨夜からの疲れた身体を引きずりつつ会長を早めに宿(平田のホテル:出雲管内で一番新しく出来た)にお連れし休息をとって頂くこととなりました。夕食は出雲の旧家を改造した料亭で和食をいただく計画です。

落ち着いたある料亭にて歓談

宍道湖に続く斐伊川土手を下り、翠苑という料亭(旧庄屋を改造した店舗)に到着。日が落ちるには少し時間があるので、庭園・茶室を見学する。抹茶をたてると女将の説明があり、茶室で待機するがその気配が無い。茶室の説明文で茶室は別途、貸し出しするとのことで、素早く予約席へ戻ることにする。が、予約客は我々3名のみで大名気分を食事を楽しむこととなった。料理が運ばれるたびに女将から料理の解説があり、有り難いやら、品良くしないと食べられません。会長は運ばれる料理にパチリパチリとデジカメでご挨拶を欠かしません。(会長と支部長夫人がお酒を召し上がり、私は、運転手役です。)

会長のご家族のお話し、私の子供の話しや、今はマンションを建てたが蛍茶屋にあった会長宅の庭園の話し、出雲弁についてのうんちく(ばんじまして! ただもの! だんだん!)と話題が弾むうち決定的共通点を発見しました。なんと、会長と私は誕生日が同じ4月29日(昭和天皇の誕生日)でありました。

お疲れを見せられることなく、宿泊ホテルへもどり、翌日は市内の散歩を計画し実施されました。その途中に、出雲平野に特有の築地松を近くからご覧になったそうです。翌朝、会長を出雲市駅にお連れし、「スーパー特急おき」で帰崎されました。お別れに駅前までパチリ。

会長、山陰へ遠路お越しいただきありがとうございます。ございました。

福岡浦陵会

会長 角田 正之 (昭33)

平成16年度の福岡浦陵会総会ならびに懇親会は9月25日(土)、福岡都ホテルで開催致しました。今年も長薬同窓会本部より西脇金一郎会長、高木康副会長、中島憲一郎長大薬学部長の出席を頂き、全員で45名が参加されました。

今年は「浦陵会講話」などのイベントは無しで例年の如く物故者の黙とうから始まり、西協会長、中島薬学部長のお話がありました。

西協会長のお話しの中では、同窓会活性化の3つのキーワード、「女性パワー」、**「協調」**、「IT」とさらに継続して同窓会の活動を維持発展させることを課題として、会員各位のご理解とご支援を強く訴えられました。また大学法人化にともなう動きの1つとして、従来は学部単位同窓会活動から、長大統一の同窓会設立の動きが始まっているとの報告がありました。

中島薬学部長からは、薬学部の近況についてのお話がありました。その主なものは国立大学独立法人体制が始まり今後の生き残りをかけての厳しい研究活動を実施していくことが求められ、その一環として医歯薬学総合研究科が設立されること、また教育体制が平成18年度から6年制に移行することが決まり、薬学部の教育・研究体制

が大きく変わることになるとのお話がありました。

懇親会は会場の中央スクリーンに「長薬100年史戦前編・戦後編」のDVD版を映写しながら、福岡浦陵会の顧問の藤野義彦氏(昭23)の乾杯の音頭でスタート致しました。懇親会は約2時間でしたが、ご出席の皆さんにより大いに飲み、且つ語り合っ「長薬100年史」の映像をバックに学生時代を再現してすばらしい至福の一時を過ごして頂きました。又、恒例の校歌の合唱には「巻頭言」を狩野勝茂氏(昭26)にお願いして、全員で合唱致しました。

最後に万才三唱と閉会の辞を福岡浦陵会顧問の古川 淳氏(昭25)にして頂き盛会の中に懇親会を終了致しました。

ところで、会員の皆様方にご報告がございます。私は福岡浦陵会の会長の任務を会員の皆様方の御指導と御協力を得て六年間務めさせて頂きましたが、私自身のプライベートのことがあり、今年度をもちまして辞任させて頂きます。本当に長い間お世話になり有難うございました。この紙面をお借りして厚く御礼と感謝を申し上げる次第です。つきましては、総会での承認があり、来年度からは青木 郁氏(昭38)にバトンタッチさせて頂きます。最後になりましたが、福岡浦陵会の益々の発展と会員の皆様方の御健勝と御活躍を祈念致しまして支部便りと致します。



長薬同窓会 福岡浦陵会 平成16年9月25日 於 博多都ホテル

大 分 支 部

支部長 藤井 幹久 (昭44院)

毎年恒例の大分支部総会が1月24日(土)大分市の「酒食・回」で西脇金一郎同窓会長をお迎えして行われました。

物故者黙禱の後、支部長挨拶、西脇会長のご挨拶と続き、本年大分で行われる同窓会総会のことについて宜しくとのことでありました。当日は今年度総会が開催されるせいか参加者16名と例年に無く少なかったのですが、総会を成功させるために出来るだけ沢山の方々に参加していただくように呼びかけをすることの決意がなされ、また、大学の独立法人化に伴う基金の呼びかけについても説明がありました。

参加者は少なかったのですが、最年少の金原先

生、当日飛び入り参加の橋本夫人に花を添えていただき、和気藹々の中、総会・新年会は無事終了しました。二次会へ向う途中、どういう訳か、会長、私、野尻副支部長の3人だけ逸れてしまい(まかれたか?)、寂しく、いやいやそれはそれで楽しいひと時を過ごしました。

5月には私と阿部敏幸幹事で長崎に出向き、同窓会の理事会で、総会に向けての準備状況等を説明し、折角大分であるのだから、大分のお神楽を見て頂くように考えている、また、温泉でのんびり全員が宿泊をして懇親会に参加して頂くようにお願い致しました。

別府での同窓会の様子は、メールにてご存知と思いますので割愛いたしますが、交通の便の悪い大分にもかかわらず、全国より68名と多数の先生に参加して頂きありがとうございました。誌面をお借りしてお礼申し上げます。



長業同窓会大分支部総会 平成16年1月24日 於：酒食回
後列 都留(昭55)、川島(平9)、安松(昭55)、橋本(昭47)、朝倉(昭51)
中列 阿部(昭50)、梅野(昭54)、石橋(昭49)、野中(昭49)、野尻(昭48)、上ノ段(昭50)
前列 橋本(昭47)、西脇会長、西川(昭26)、金原(平14)、藤井(昭44院)

宮崎支部日向浦陵会

支部長 田中 重雄 (昭45)

平成16年8月21日、台風の来ない間に、宮崎市で2年ぶりの同窓会を開催しました。

甲斐 勲支部長からの催促で、衛生環境研究所の小坂妙子さんが準備し、岩切桂子さんのところの宮崎交通エアラインホテル中華料理「龍王」に集まりました。

午前中は西脇金一郎会長と、古賀さん(昭33)の墓参りをすませた後、NHKの朝ドラ「わかば」の舞台にもなる日南市に行き、小村寿太郎記念館、城下町を案内し、今、脚光をあびている飴肥の観光アピールもしてきました。

午後6時から竹井正行さんの総合司会で同窓会開催。

18名で、古賀さんのご冥福を祈って黙とうした後、西脇会長、甲斐支部長、高良真也教授の挨拶、次に校歌斉唱と前半は厳かに行われました。

最近の傾向として同窓会の出席率は、年々低下しているとのことですが、我が宮崎支部も例外ではありません。そんな中、宮崎支部創設者で初代会長の杉岡和雄先輩は、必ず出席され薬専時代の貴重な話をしてくれます。そして、傍らでいつも、静かにコップ酒をあおっている酒匂 保先輩の焼酎で鍛えた鼻と体は衰えることなく、毎回参加しています。ご夫婦でいつも仲良く参加される肥田木由志子さん、肥田木省三さん。この二人の参加が宮崎支部の出席率を向上させています。アイリス薬局のベテラン薬剤師矢野さおりさんは、話題

豊富で後輩にいろいろアドバイスをしています。山元眼科院長夫人の山元裕子さん、いつも元気ハツラツで、岩切、小阪両先輩に囲まれ談笑していました。ふるさと薬局の榊田 希さん、明るい笑顔で後輩や先輩に対して分け隔てなく話を聞いています。県庁環境政策課で環境問題に取り組んでいる宗安正俊さんは、同窓会ではカメラマンで活躍しています。宮崎市保健所で保健衛生業務を担当し、健康危機管理の演習ではリーダーで活躍している井上寛規さん、衛生環境研究所で打ち合わせをしたとき、同窓生であることを確認しました。今回、平成15年卒の宮崎循環器病院の黒木理恵さん、宮崎市保健所の関屋志帆さんの若い方も参加され、今回はさらに華やかな雰囲気になりました。

最後に、西脇会長から長薬100年のビデオやCDの紹介があり、完売しました。なつかしい昔の長崎や薬学部が収録されており、貴重な資料だと思います。

このように、時間のたつのも忘れ、盛会のうちに一次会は終了しました。

二次会は、西脇会長、高良教授、杉岡先輩、肥田木夫妻、竹井、田中の懲りない面々で、杉岡先輩行きつけの店へ繰り出しました。杉岡先輩の演歌の数々、西脇会長の「長崎の鐘」に聞き惚れ、肥田木由志子さんの「精霊流し」の美声に酔いながら、二次会も盛り上がりました。少し酔いが覚めたころ、高良教授と田中はスナックの片隅で「分析値の不確かさ」について議論しました。気楽に話せるところが、同窓会のいいところだと思いつつ二次会を後にしました。



熊本支部

支部長 山本喜一郎 (昭55)

2004年度の熊本支部会は、9月4日(土)に「割烹たけだや」で開催いたしました。「たけだや」は、熊本城のお膝元京町にある創業100年を誇るお食事処で、満足の行くおもてなしに加え大衆的な価格設定が売り物の割烹店です。

参加者は合計13名(写真)で、当日は、環境科学部 高良真也先生(昭和57年)に長崎からご来熊いただきました。また、今回は特別に、第一薬科大学の松原大先生(昭60年)にもご参加いただきました。熊本の支部会参加者は毎年この程度です。もっと多くの方に参加していただきたい気持ちはあるのですが、小規模であるが故に参加者全員がお互いにひざを突き合わせて会話ができる点も毎年の楽しみにしております。

高良先生には、本年4月から大学が独立行政法人化されたことに因んだ変化も交えながら近況報告をいただきました。外部環境の変化は、国内に薬学部がどんどん新設されていること、内部環境としては、近々薬学部が6年制になり、既に薬学

部の先生は皆「医歯薬総合研究科」から教えに来ているという話題でした。最も記憶に残ったのは、法人化前後の先生方の身分の変化でした。職業の欄を埋めるのにこれまでは「公務員」と記載すればよかったのですが、高良先生はわからなかった。事務の方に尋ねてみると、「会社員」と書いてくださいと言われ、初めて身分の変化を実感したとお話でした。最後は、法人化したことで寄付行為を受けられるようになったというお話を、ちゃっかりとされて話を締めくくられました。先生は学生時代を髣髴させるような得意の話術を使って、皆さんを笑いの渦に巻き込みながら、大学の変化を極めてわかりやすくご説明くださいました。高良先生ありがとうございました。

来年も盛会になることを祈念し、最後に今回のご出席の皆様を以下にご紹介させていただきます。

篠原 亮太 (昭46)	江川 清文 (昭48)
橋本 次男 (昭50)	岩下 淑子 (昭52)
平野 玲子 (昭52)	山本喜一郎 (昭55)
高良 真也 (昭57)	矢上 一英 (昭57院)
松原 大 (昭58)	松尾富士男 (昭59)
城下 佳秀 (昭61)	上仲 小玲 (平6)
森 豊美 (平15)	(以上13名、敬称略)



長崎支部ぐびろ会

会長 伊豫屋偉夫 (昭41)

今年度の長薬同窓会長崎支部ぐびろ会の総会を平成16年10月16日(土)午後6時30分から長崎市筑後町のセントヒル長崎で開催しました。

8月28日に開催しました役員会で、10月23日(土)が薬学部の改修工事竣工祝賀会なので、その前日に長崎支部ぐびろ会の総会を開催してはどうかとの意見もありましたが、続けてはきついのではとの意見が多く、一週間前に開催することにしました。しかし、長崎支部全会員の約900人に案内を出しましたが、時期的にいろんな行事が重なり、出欠の締切日までに出席の返事があったのは、たったの23人でした。会役員の方々に呼びかけをお願いして、当日は35人の出席を得ることができました。

昭和49年卒の馬場満輝先生の司会で開会し、同窓会長の西脇金一郎先生と薬学部長の中島憲一郎先生から来賓祝辞をいただき、その後昭和54年卒の濱崎和久先生を議長に選出し議事に入りました。今年の議題では、毎年長崎支部で薬学部に行っていました、20万円相当の医療薬学の図書の贈呈に替えて、今年度から薬学部教育研究活性化基金に20万円を寄付することと、会員が少ない五島支部と統合することの、二つの大きな議題を提案させていただきました。

薬学部教育研究活性化基金は、平成18年度から薬学教育6年生が導入されるのに対応し、薬剤師の卒後研修を行うとともに、研究開発のために今年度設立されたもので、地元の同窓会としても応援していこうと提案させていただきました。また、五島支部の件につきましては、西脇同窓会長から五島支部と長崎支部が一緒になって両支部の活性化を図って欲しいとの要望がありましたので提案させていただきました。

議案に対し、基金への寄付は研究開発ではなくて、薬剤師の卒後研修に使用することの条件を付けるべきではないかとの意見もありましたが、同窓会としてはいろいろな仕事に従事している同窓生の資質の向上に繋がる使い方に寄付することで理解をいただき、両議案とも提案どおり承認をいただきました。

今後も、会員の皆様からいただきました会費の中から、薬学部教育研究活性化基金に毎年20万円を寄付していこうと思います。まだ、今年度の会費を納めておられない方は、送付しています振込用紙で早めに振り込んでいただきますようよろしくお願いいたします。また、五島支部のみなさんも長崎支部と一体となって同窓会の活性化と薬学部の発展のためご協力をお願いします。

来年度の長薬同窓会総会は長崎支部が担当で開催します。平成17年6月11日(土)を予定しています。長崎支部900名の会員の皆様をはじめ全国からのご参加をお待ちしています。



平成16年度長薬同窓会長崎支部ぐびろ会総会 平成16年10月16日 於 セントヒル長崎